2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- ▼ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 愛媛県立新居浜東高校 】

| 1実践テーマ | I · A |
|---------|--|
| 2実施対象者 | 健康・スポーツコース生徒67名 |
| (学年·人数) | 教職員10名程度 |
| 3展開の形式 | (1) 学校における活動 |
| | ① 教科名 () |
| | ②行事名(講演会) |
| | ③ その他 () |
| | (2) 地域における活動 |
| | ① イベント名(|
| | ② その他 () |
| 4 目 標 | 2020 年東京オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成するとともに、理 |
| (ねらい) | 念の普及・浸透を通じて、スポーツの価値の理解を深める。 アトランタ・シドニー・北京と3度のオリンピックに出場し、様々な国際大会 |
| | で優秀な成績を収めている佐伯選手を招聘して、自身の体験や競技人生におけ |
| | でである。 る喜びや苦労などを講演していただき人間形成に役立てるとともに、 実技指導 |
| | からオリンピック選手の高い技術を学ぶ。 |
| 5 取組内容 | |
| | ・2020 東京オリンピックの取り組みについて |
| | オリンピックの実施種目 |
| | オリンピックを支える取り組み ・講師(佐伯美香)の紹介 |
| | 競技実績 |
| | |
| | ○オリンピック教育講演会 ・佐伯選手の競技歴 |
| | ・オリンピックでの経験 |
| | ・夢を叶えることについて |
| | ・質疑応答 |
| | 〇上手なコミュニケーショ ンの取り方 |
| | O食事のとり方について |
| | Oケガについて |
| | |
| | |

| | ・実技指導 ボールを使って体ほぐし キャッチボール パス 対人レシーブ |
|-----------------------------|---|
| | ○事後指導・オリンピックの意義や経済効果などについて・スポーツがその人自身や社会に及ぼす影響・フェアプレイの精神について・ドーピングについて・共生社会実現に向けての意識 |
| 6 主な成果 | ・オリンピック選手から講演、実技指導をしてもらうことで、高校生からは遠い存在であるオリンピックを身近に感じることができた。 ・講演内容がスポーツにどのように取り組むべきかという内容だったので、運動部活動生徒には目的意識や目標を持つことの動機付けになった。 ・運動部活動生徒にとって、オリンピック選手の話は自分の競技種目につながる部分が多く、講演後の部活動が非常に活性化した。 ・パラリンピックで行われる種目を体験したいという生徒が多数でてきた。 |
| 7実践において 工夫した点 (事業の特色) | ・講師の実績が周知徹底できるよう事前指導を行った。・オリンピック、パラリンピックの意義について授業を使い説明した。・東京オリンピックで実施される種目について説明した。 |
| 8主な課題等 | ・今年度は校内の行事もたくさんあり、日程調整に苦労した。・高校生記者を講演に出席させることが授業の関係で難しい。・講演と実技を2時間で実施するのは時間的に厳しいものがある。どちらかに絞れば良かった。 |
| 9来年度以降の 実施予定 | ・保健体育の授業でオリンピック・パラリンピックの意義について講義をしていきたい。・パラリンピック種目については県から道具をお借りし、実施していきたい。・HRなどでもオリンピック・パラリンピックをテーマにした授業をしてもら |

えるよう働きかけていきたい。